

## システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 23 年度	学 位 名		修士(公共政策)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名	宅見 隆司
指導教員氏名 大貫 裕二				
報告書題目 災害時における行政サービス—東日本大震災を事例として— (浦安市における千葉県議会議員選挙の選挙事務問題)				
報告書概要 <p>本章では東日本大震災後の浦安市における千葉県議会議員選挙の選挙事務問題(以下、本問題)を取り上げている。この問題は千葉県浦安市が液状化という局地的な災害を受けたことに端を発する。関係自治体や選挙管理委員会の選挙執行に対する認識に差異が生じたため、「当選者なし」という結果に終わり、再選挙までおよそ三週間にわたって浦安市民の民意が千葉県議会に届けられない事態に発展した。このような問題は現行制度の下において例がなく、これまでに類似した研究はなされていなかった。</p> <p>本章では関係者に対する聞き取り調査に加え、当時の報道資料、過去に災害によって選挙執行が危ぶまれながらも執行できた過去の事例の調査をもとに本問題の原因を究明し、個々に対応した提言も行っている。</p> <p>調査の結果から本問題の原因は二つに大別できる。第一点は局地的災害発生時における選挙延期の明確な基準の欠如や選挙執行主体の直接的な予算執行が不可能である点などの制度的な欠陥である。もう一点は本問題における国や関係自治体、選挙管理委員会などの情報共有不足など現行制度の運用の問題である。</p> <p>今後、政府や地方自治体は液状化現象のみならず我が国において可能な限り多様な事態を想定し、選挙執行に関する法整備を含めた制度設計や事前対策を行うべきである。</p>				
審査日 平成 24 年 1 月 25 日				
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)	
主査	筑波大学 教授	工学博士	香田 正人	
副査	筑波大学 准教授	工学修士	大貫 裕二	
副査	筑波大学 准教授	博士(工学)	村尾 修	